

SBC 初勝利まで僅差！

SBC 5 | 8 某JC

平成26年7月12日、田野町運動公園にてSBC（ソフトテックスベースボールクラブ）対某JCとの試合があった。

床島の力投、石神のランニングホームラン等で一時はSBCがリードしていたものの、4回以降追加がなかなか奪えず、四球やエラーなどにより失点が増え、逆転負けを喫してしまっ

エースの貫禄 床島

SBCの先発投手 床島はキレのあるストリートを武器に完璧な立ち上がりを見せ、2回を0点に抑えた。試合前日まで「俺、腰がぎっくり腰で・・・」と弱気な発言をしていたが、マウンドに登ると前日とはまるで別人のようであった。

「これぞ4番！！」 石神

試合が動いたのは3回表SBCの攻撃からである。ヒット等で繋いだ後、打者は4番石神。甘く入ったストリートを見逃しはしなかった。力強く振ったバットは快音を残し、ボールは右中間を切り裂いた。守備がもたつく間、石神は快足を飛ばし、ホームへ帰ってきた。これがSBC設立以来、第1号となるホームラン（ランニング）になった。試合後のインタビューでは、「俺は猛打賞だったんですよ！！」と本人もご満悦のようであった。

監督・選手両方で魅せた 木原

SBCの監督、木原はこの日、選手兼監督という難しいポジションで試合に臨んだ。試合前にはうだるような暑さの中、選手一人一人にノックを行っていた。この時、選手の調子や体調を

を監督なりに見ていたに違いない。選手としての見せ場は、第2打席目。相手投手が投げたストリートを待つてましたと言わんばかりに豪快にバットを振った。ボールはセンターの遥か頭上を越え、悠々の2塁打となった。

この試合で、長打は3本（多分）だけであるので、木原は長打力のある選手としても、魅力のある選手だと分かる。

初陣を勝利で飾ることはできなかったが、選手兼監督としてこれからも大いに期待したい。

今回、野球部創設以来、初めての対外試合となった。課題はまだ山積みではあるが、それ以上に手応えのある一戦になったことは間違いない。今回負けた悔しさをバネに次の試合では勝てるように頑張りたい所だ。

そして、怪我なく終われたことも何よりの収穫であった。

感謝

暑い中、応援に来て頂いた皆様、本当にありがとうございます。まだまだ下手くそな自分達ではございますが、下手くそは下手くそなりに頑張っ行っていきますので、これからも応援宜しくお願い致します。

また、次回の練習試合は8月を予定しております。冷やかしゃ野次も熱烈大歓迎ですので一人でも多くの方に試合に足を運んで頂けるととても嬉しいです！！

次こそは勝つ！！！！



[出場メンバー]

打順	守備
1 西田(宏)	二
2 日高	一
3 大下	左→投
4 石神	遊→投→捕
5 富永	中→投→中
6 床島	投→一
7 河野(章)	捕→遊
8 木原	三
9 西田(悠)	右
	八木 右
	工藤 中→左
	田岡 三

(記者:西田宏伸)

※部員、マネージャー募集中！！！！